

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	5043	(H.26)No.	5043
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	502001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	文化施設管理費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	文化施設管理費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	1	市民文化
	小 施 策	2	文化施設の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
文化財施設等の適切な維持管理と、入館者の利便性の向上を図ります。
事業内容
文化財施設等の維持管理経費です。
国史跡夏見廃寺並びに夏見廃寺展示館 県史跡名張藤堂家邸 旧市民会館 観阿弥ふるさと公園 乱歩生誕地広場 等

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	文化財施設等の維持管理経費 名張藤堂邸の白壁の補修等 需用費 1,572千円 役務費 193千円 委託料 1,539千円 使用料 240千円 原材料費 10千円 工事請負費 389千円	文化財施設等の維持管理経費 需用費 2,006千円 役務費 299千円 委託料 2,149千円 使用料 296千円 維持補修費 260千円	文化財施設等の維持管理経費	文化財施設等の維持管理経費	文化財施設等の維持管理経費

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	3,943千円	5,010千円	5,490千円	5,490千円	5,490千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(使用料等)	686	716	700	700	700
一般財源	(0) 3,257	4,294	4,790	4,790	4,790
人工数					
職員	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
臨時職員等	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人
②概算人件費	(0千円) 5,275千円	5,275千円	5,275千円	5,275千円	5,275千円
①+②総事業費	(0千円) 9,218千円	10,285千円	10,765千円	10,765千円	10,765千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
名張藤堂邸の白壁の補修など文化財施設等の適切な維持管理を行うとともに、利用者の利便等の向上に努めました。	引き続き施設の適切な維持管理に努めるとともに、入館者数の増加や施設の認知度を高める取組を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	夏見廃寺展示館と藤堂家邸については、市民団体との協働によるイベントの開催など認知度を高め、入館者数の増加に努めてまいります。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	それぞれの地域にある施設の活用に、地域づくり組織と連携して取り組んでおり、今後とも連携を深めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
施設のあり方も含め、今後の管理及び修繕について検討を進めるとともに、入館者数の増加につながる取組を進めます。	